

# 一橋大 兼松講堂拠点にオケ誕生

## 手軽な価格で楽しんで

一橋大の兼松講堂(東京都国立市)を本拠地に活動するプロオーケストラ「一橋大兼松講堂レジデントオーケストラ『国立シンフォニカー』」が発足した。同大出身でサラリーマンから転身した異色の指揮者・宮城敬雄さん(66)を中心に、在京オケの首席奏者らが集まり、手ごろな価格で質の高い音楽を市民に提供する。一橋大によると、音大以外の大学を拠点にするプロオーケストラは世界的にも珍しいという。

創立記念コンサートは十月二十四日午後二時から兼松講堂で。ブラームスの「大学祝典」序曲、シューマンのピアノ協奏曲、ブラームスの交響曲第一番を演奏する。チケットはP席六千五百円、S席四千五百円、A席三千円。B席(二千円)は売り切れ。問い合わせは高輪プリンツヒェンガルテーン＝電03(3443)15211へ。(萩原誠)

## OBの宮城さんら結成

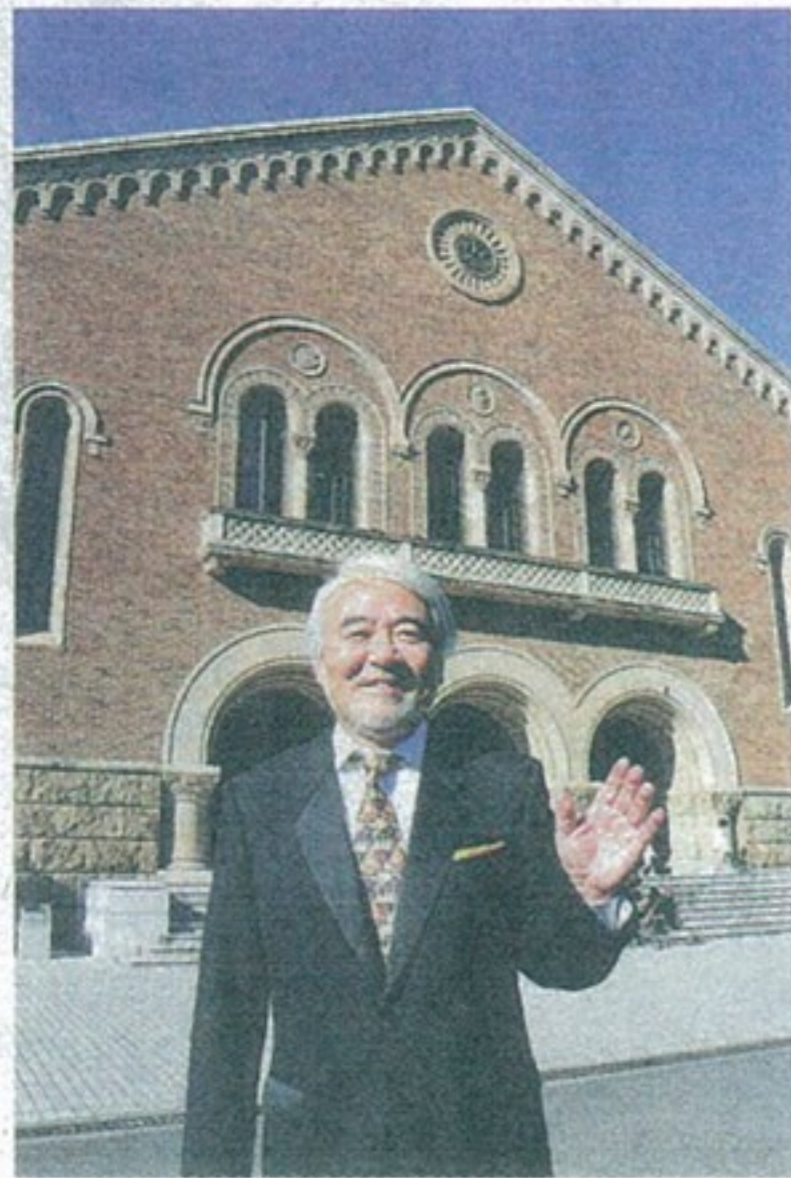
宮城さんは同大商学部卒。二十一年間にわたるサラリーマン生活の後、実家の家業を継いだ。「好きな音楽を自分なりに表現したい」と一九九五年、五十歳で指揮を白川和治氏らに師事。二〇〇〇年以降はチェコやドイツ、ロシアをはじめ、国内外で活動している。

人に聞いてほしい」と兼松講堂に着目。大学側と協議を重ね、今年六月に同講堂を拠点に活動する協定を結んだ。

国立シンフォニカーは東京フィルのほか、NHK交響楽団、新日本フィルのメンバーらで編成。

兼松講堂は一九二七年に完成、二〇〇〇年に国の登録有形文化財とされた。

宮城さんは〇七年、親しい東京フィルの首席奏者らと「国立シンフォニカー」を結成して勉強会を重ねていたが、「自分たちの音楽をより多くの



「自然な響きのライブのよさを、より多くの人に楽しんでほしい」と兼松講堂の前で話す宮城さん＝東京都国立市の一橋大で